



2学期の成長ぶりを振り返って

終業式 校長式辞

暑さとの闘いから始まった2学期でしたが、その始業式で私は「仲間」というキーワードについて話をしました。同じ目標に向かって一人一人役割を果たすような集団、それが「仲間」であって、様々な行事や活動を通して、仲間づくりをして欲しいと話しました。皆さんいかがでしたか。

まずは、FF 体育祭。朝まで雨が降っており開催が心配されましたが、皆さんの熱気で途中からは青空が見えるようになり、感動的な体育祭となりました。10月の体力別遠足の日も朝は雨粒が落ちていましたが、次第に晴れやがて雲一つない天気となりました。それぞれの選んだコースで自然や文化を満喫する1日となったことでしょう。

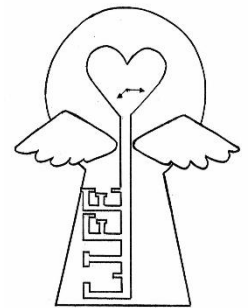
そして合唱コンクール。各学級の様々なドラマを垣間見たような気がします。特に3年生の合唱は学年合唱を含めて流石でした。審査を忘れるほど感動したのを思い出します。全校生一人一人、自分たちの合唱・自分たちの学級に誇りを持っていいと思います。

そして、部活動も生徒会も中心は3年生から2年生へとバトンが受け継がれました。女子バスケットボール部や女子バドミントン部をはじめ新人大会や様々なコンクールでの活躍は見事でした。

また、新生徒会の意気込みを、赤い羽根募金やクリスマスイルミネーションなどから確かに感じ取ることができました。これからの更なる活躍を期待します。

さて、ここで「いのちの日」について一つ話をさせてください。

今、11月25日から1月28日まで、上山市立図書館でチョークアート展を開催中です。描いた方は、遠藤由美子さんで、長らく中学校教員をされていました。しかし、遠藤先生は、昨年10月、62歳という若さでありながら、病気のためお亡くなりになりました。チョークアートは亡くなる前、わずか3年間くらいで制作されたものばかりです。遠藤先生とその旦那さんとも親交のあった上山図書館の館長さんの発案で



今回の企画展が開催されました。実は、遠藤先生は、一中にも平成20年4月から25年3月まで勤務をされていました。皆さんもよく知っているこのマーク（いのちの日のマーク）は、当時の生徒の発案を、遠藤先生がアレンジして完成したものだと思っています。遠藤先生の作品には、明るさ・陽気さ・まぶしさが感じられます。「私の分まで、いのちを輝かせて生きてください」というメッセージを感じました。興味のある人は、是非、お家の人と一緒に行ってみてください。

1月9日、みんな元気に3学期をスタートしましょう。大きなけがや体調を崩さないことに留意して、年末年始を過ごしてください。（一部省略しています）

一中生の活躍光る！おめでとうございます

日本抜刀道連合会全国大会 第3位 1年 成田一人さん

第20回郡山フェスティバル大会 クリスマスカップ2023 第2位 女子バスケットボール部